

平成26年度 武蔵野市図書館事業 重点中長期目標 図書館運営委員会評価

<評価について>

A 目標を達成し一定の成果があった

B 概ね目標を達成したが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、目標を達成できなかった

No.	中長期目標	単年度目標	図書館基本計画 関連施策	図書館運営委員会		担当
		取組結果		評価	コメント	
図書館施設・機能の充実						
1	自動貸出・返却機等の導入・活用により業務の効率化を図り、限られた人的資源を読書の案内や課題解決の支援に向けます。	自動返却機については、月1回ペースで定期点検をし、安定運用を図ります。また、原因不明の不具合については、蓄積したデータの解析を進め、改善点を検討し、有効かどうか順次検証します。 予約棚については、ハード面の工夫による性能の向上や安定化が限界に近づいているため、主に運用上の工夫により読み抜けの防止を行います。読み取り率の悪いCD、DVDについては、特に工夫を検討します。 検証結果や点検、読み抜けの記録を報告書にまとめます。	図書館業務システムの再構築 貸出・閲覧サービスの利便性の向上	B	予約棚の読み取り率向上の取り組みを早急に進めるとともに、今後も適正な執行に努められたい。	図書
		自動返却機については、月1回ペースで定期点検をしました。同時に、障害調査と解析、対応を進め、海外製プログラムのため、解析に限界があるもの以外は、随時対応し、安定稼働に努めました。 予約棚については、特に読み取り率が低いCD、DVDの棚の読み取り率を上げるため、運用を変更する準備を進めました。調査検証、解析等の結果は、報告書にまとめました。	一般利用者向けサービスの充実			図書
		現行システムの安定的な運用を図るとともに、プレイス開館以後の予約数、搬送資料数の大幅な増加、休館日や開館時間が異なることによる曜日ごとの業務量の増減等を考慮し、予約サービス内容の変更を試行します。	図書館業務システムの再構築	A	業務量増大の状況も勘案し、引き続き業務システム改善等、適正な執行に努められたい。	サービス
		5月から在住・在勤・在学と近隣の登録者で、予約可能点数に差を設け、リクエストについても在住者のみと変更しました。これにより年間の予約件数が減少することは、現状ではありませんが、急激な業務量の増加を抑えているとみることもできます。	図書館業務システムの再構築	A	利用者アンケートの結果等、利用者ニーズを反映した仕様になるようよく検討するとともに、今後の適正な執行に努められたい。	サービス
		現行システムの後継機、他システム、新技術の視察・研究を行い、機種選定の参考となる資料を収集します。その結果を基にシステム更新について検討を行い、報告書を作成します。	図書館業務システムの再構築	A	利用者アンケートの結果等、利用者ニーズを反映した仕様になるようよく検討するとともに、今後の適正な執行に努められたい。	図書
		現行メーカーや他社のデモや情報収集をし、内容や評価は、報告書内に記載しました。それをもとに、次期システムの選定をしました。	図書館業務システムの再構築	A	利用者アンケートの結果等、利用者ニーズを反映した仕様になるようよく検討するとともに、今後の適正な執行に努められたい。	図書

No.	中長期目標	単年度目標	図書館基本計画 関連施策	図書館運営委員会		担当
		取組結果		評価	コメント	
安心して利用できる図書館環境の構築						
2	利用者が快適で安心して図書館を利用できる環境を構築します。利用者アンケートの中で、安心感があるとの評価を75%以上にします。	アンケートの結果等を踏まえた予算措置等を講じ、より安心して図書館を利用できる防犯体制の実現を目指します。	利用者の安全性を高める施設の充実	A	施設管理レベルを維持するとともに、警備体制の質の向上について検討されたい。	管理
		吉祥寺図書館の防犯カメラの更新工事を実施するとともに、定期的に館内を巡回する制服着用の警備員の配置及び駐輪場への係員の配置について継続実施しました。				管理
質の高いサービスを支える体制整備						
3	図書館が提供するサービスについて、見直しと向上を図る評価システムを構築、運用し、評価を実施していきます。	図書館基本計画との連動性を高めるための評価システムの見直しを行い、26年度終了後には新システムの元、目標への取り組みに対する評価を実施し、市民へ公表します。	評価システムの構築	A	評価システムは順調に運用されている。今後も適正な執行に努められたい。	管理
		取り組み目標を重点とその他で分けて重要性を整理し、内部と委員の評価対象を共通化する評価システムの見直しを行いました。新システムによる評価を、図書館運営委員会の審議を経て、9月ごろ公表予定です。				管理
地域の情報拠点としての情報の蓄積						
4	市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。	一般図書、逐次刊行物、視聴覚資料、郷土行政資料等について収集方針を点検し、報告するとともに、引き続き収集と整備を進めます。	多様な情報資料の蓄積	A	引き続き収集、整備を続けられたい。	図書
		点検の結果、特に変更はありませんでした。				図書
		利用者のニーズ、アンケートの結果及び他市調査等に基づき、インターネットデータベースの種類を増やします。	多様な情報資料の蓄積	A	データベースの種類について、調査情報収集を継続し、増加について検討されたい。	レファレンス
		「MAGAZINE PLUS」をプレイスと中央に、「WebOYa-bunko」を中央に新規に導入しました。○契約インターネットデータベース12種類 ○インターネットパソコン利用者数 19,309人(全館)				レファレンス
		積極的な広報や、年2回以上の利用者講座の実施などを通じて、利用の促進を図ります。	多様な情報資料の蓄積	B	利用者講座について、参加者数増など成果が出ているので、もっとPRすべきである。	レファレンス
		データベースについては、HP等に掲載しています。利用者講座については、プレイスにて2回実施しました。				レファレンス
		図書館における電子書籍環境について引き続き研究するため、現在の取り巻く状況を調査します。	多様な情報資料の蓄積	B	引き続き調査を行われたい。	図書
電子書籍がテーマになっている図書館総合展のセミナーに参加しました(1件)。大手のベンダーにはそれぞれ動きがありますが、当市でも導入するという判断には至りませんでした。	図書					

No.	中長期目標	単年度目標	図書館基本計画 関連施策	図書館運営委員会		担当
		取組結果		評価	コメント	
市民や関係機関と連携したサービスの充実						
5	学校図書館の支援機能を強化しながら、図書資料を活用した学習を広く支援するとともに、そのための体制づくりに取り組みます。	学校連携用図書の選書会議を年1回開催します。また、学校連携用の資料の貸出テーマ別リストを更新します。	学校との連携協力	A	テーマ別リストの充実等、業務の効率化と学校へのスムーズな情報提供について、さらに改善を図りたい。	サービス
		学校連携用図書の選書会議を開催し、現場の教職員の意見を選書に反映して、お互いの情報交換も行っています。また、学校連携用資料の貸出テーマ別リストを更新し、今後の業務の効率化を図りました。				サービス
		学校図書館システムとの連携に関する具体的な取り組みについて、他自治体の事例等の調査の結果をまとめます。	学校との連携協力	C	学校図書館システムとの連携はシステムの問題から現実的でないが、それ以外の方策を検討されたい。	サービス
		新システムの導入に当たって、他市の状況について多少の情報を得ましたが、体系的な調査には至りませんでした。				サービス
		学校や学校図書館に職員が出向き、ブックトークや読み聞かせの講座等を学校の要望を取り入れながら引き続き実施していきます。	学校との連携協力	A	関連事業について、更に多くの学校で実施できるよう、PRされたい。	サービス
		今年度は「しんいちねんせいにおすすめのほん」を作成し、それをもって市内の1年生にブックトークと読み聞かせを行う事業を実施しました。また中学生向けの読み聞かせ講座や、校内研修会でのブックトークの講座なども行いました。				サービス
図書館の活用と情報収集の支援						
6	利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境整備を進めます。	24年度から実施している「みどりのこども館」でのおはなし会についてこれまでの実績を踏まえ、今後対象を拡大できるか検討し、報告書を作成します。	本に親しめる環境の整備	A	今後も継続されたい。	サービス
		「みどりのこども館」でのおはなし会の実績を踏まえ、検討し、今年度から障害者福祉センター内の「さくらっこクラブ」と「おひさま幼児教室」においても出張おはなし会と図書の貸出の実施を始め、報告書を作成しました。	児童向けサービスの充実			サービス
		一般向けトピックス展示を、中央で年5回(期間1～3ヶ月)、プレイスで年6回(期間1～2ヶ月)実施します。	本に親しめる環境の整備	A	今後も継続されたい。	レファレンス
		中央(4回 585冊、ミニピ5回 303冊)プレイス(6回 1,512冊)吉祥寺(ミニピ2回 36冊) 実施しました。	一般利用者向けサービスの充実			レファレンス
		児童向けテーマ展示を各館年3回以上実施します。	本に親しめる環境の整備	A	今後も継続されたい。	サービス
		児童向けテーマ展示を各館年8回実施しました。	児童向けサービスの充実			サービス
		児童・ヤングアダルト資料について、引き続き収集と整備を進めます。	本に親しめる環境の整備	A	今後も継続されたい。	サービス
		児童・ヤングアダルト資料について、引き続き収集と整備をすすめました。新刊書のみでなく、長く読み継がれている資料の買替も進めました。	ヤングアダルト向けサービスの充実			サービス
		24年度に各館(中央・プレイス)で実施したYA向きの展示企画を発展させ、3館で取り組む企画展示として実施します。	本に親しめる環境の整備	B	目標達成に努められたい。	サービス
		各館ではYA向きの企画展示を実施しましたが、3館での取り組みはできませんでした。中央1回 110冊、吉祥寺1回 33冊、プレイス5回 374冊	ヤングアダルト向けサービスの充実			サービス

No.	中長期目標	単年度目標	図書館基本計画 関連施策	図書館運営委員会		担当
		取組結果		評価	コメント	
市民の学びと課題解決の支援						
7	利用者が必要とする情報・資料を容易に探索できるよう、本の案内やレファレンスサービスを充実していきます。利用者アンケートの中で、レファレンスサービスについて良いとの評価を75%以上にします。	各館で実施した研修資料については他館に送付し、レファレンス問題については全館で検索可能なレファレンス事例システムに入力し、情報共有の体制を強化します。	レファレンス・サービスの充実	A	今後も継続されたい。	レファレンス
		各館で実施した研修資料については他館に送付し、レファレンス問題については全館で検索可能なレファレンス事例システムに入力し、情報共有を図りました。	一般利用者向けサービスの充実			レファレンス
		中央で実施した研修に分館から代表が参加した後、自館で報告研修を行ったり、同じレファレンス課題に全館職員が取り組み、レファレンス対応力の向上に努めます。	レファレンス・サービスの充実	A	特別整理期間の利用など、相互に研修に参加できるよう工夫されたい。	レファレンス
		中央で実施した研修に分館から代表が参加した後、自館で報告を行ったり、中央で行ったレファレンス課題を分館のレファレンス研修に使用することで、レファレンス対応力の向上と共有化を図りました。	一般利用者向けサービスの充実			レファレンス
		レファレンス研修については、中央で7回、分館で2回以上実施します。	レファレンス・サービスの充実	A	今後も継続されたい。	レファレンス
		内部研修、中央8回、吉祥寺4回、プレイス6回実施しました。外部研修9回、参加しました。	一般利用者向けサービスの充実			レファレンス
利用対象者別の図書館サービスの充実						
8	シニア世代を対象とした趣味や健康に関する情報提供や図書館資料を活用した学びの支援、また市民ボランティアとして図書館運営に参画してもらいます。利用者アンケートの中で、シニア利用者の図書館満足度について良いとの評価を75%以上にします。	プレイス生涯学習機能で実施しているいきいきセミナー、老壮シニア講座等に、資料提供、図書館利用案内等を行い、シニア世代の生涯学習を支援します。	シニア利用者に対するサービス	A	今後も継続されたい。	サービス
		プレイス生涯学習機能で実施している様々な講座等に資料提供や図書館利用等を行いました。生涯学習機能への提供 10回 448冊	来館、利用困難者に対する利便性の向上			サービス
		引き続き障害者サービスのためのボランティア養成を実施します。	シニア利用者に対するサービス	A	今後も継続されたい。	サービス
		引き続き障害者サービスのためのボランティア養成を実施しました。講座数9回、参加人数延べ450人	来館、利用困難者に対する利便性の向上			サービス
		高齢者施設への資料の団体貸出を実施します。	シニア利用者に対するサービス	A	他の高齢者施設への貸出をPRされたい。	サービス
		桜堤ケアハウスへの団体貸出を開始しました。	来館、利用困難者に対する利便性の向上			サービス
		シニア世代が利用しやすい大活字本の充実を図ります。	シニア利用者に対するサービス	A	大活字本の出版点数増加に伴い、今後の購入資料配置場所について検討されたい。	サービス
		継続して大活字本の充実を図りました。	シニア利用者に対するサービス			サービス